

船舶事故等調査報告書

平成26年1月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013横第115号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成25年8月16日 07時06分ごろ
発生場所	静岡県静岡市清水港の袖師第1ふ頭8号岸壁 清水港江尻船だまり北防波堤灯台から真方位030° 2,080m 付近 (概位 北緯35°02.0′ 東経138°30.5′)
事故等調査の経過	平成25年8月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	コンテナ船 WAN HAI 265（シンガポール共和国籍）、18,872トン 9230232（IMO番号）、WAN HAI LINES (S) PTE LTD.
乗組員等に関する情報	船長（中華人民共和国籍）、免状不詳
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船尾部外板に凹損 岸壁 側面コンクリートが欠損
事故等の経過	本船は、船長ほか18人が乗り組み、タグボート1隻を右舷方に配置して清水港の袖師第1ふ頭8号岸壁に入船左舷着けで着岸作業中、左舷船尾部と岸壁との間隔が約10mとなり、更に近づいたので、船長が、タグボートに英語で「ゆっくり引け」と指示したところ、タグボートから英語で「ゆっくり押す」との応答があり、本船の左舷船尾部が岸壁の角部に急接近した。 船長は、折り返し、タグボートに「押すのではなく、引け」を指示したところ、タグボートから「ゆっくり引く、了解」の応答があったが、平成25年8月16日07時06分ごろ本船の左舷船尾部が岸壁の角部と衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1 海象：潮汐 低潮時
その他の事項	船長は、タグボートとの連絡を英語で行っていた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、清水港の袖師第1ふ頭8号岸壁に左舷着けで着岸作業中、タグボートが船長の指示とは逆に本船の右舷を押したことから、岸壁

	に接近し、左舷船尾部が岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、清水港の袖師第1ふ頭8号岸壁に左舷着けで着岸作業中、タグボートが船長の指示とは逆に本船の右舷を押しだしたため、岸壁に接近し、左舷船尾部が岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。